



香南市は企業の誘致と雇用対策に取り組んでいます。その中でも、市内に根付いた元気な立地企業に依頼し、会社の紹介をしていただきました。

高知エスジーロイ有限会社

こうちえすじーろい
ゆうげんかいしゃ



高知エスジーロイ有限会社

- 本社 香南市野市町西野1179
- 代表者 岡崎 隆典
- 社員数 7人(うち地元社員3人)

特殊な金型づくりでニーズに応える

量産の難しい素材(難加工材)を加工する金型を作っております。

当社の製作した金型を使用し、作られた部品は、現在情報家電、ロボット、産業機械、航空機、自動車、医療分野等からの期待が高まっており、日々仕事にやりがいを感じております。

◀冷間鍛造金型

鍛造金型は、加工時の温度により冷間鍛造と熱間鍛造に分かれます。冷間は、熱間と比べ表面仕上げおよび寸法精度の良好な部品が得られますが、材料変形が小さいため、大きな加工力が必要で、金型が受ける荷重も大きく、加工には高度な技術が必要とされます。また、金型の精度は熱間よりも高く、一般的には0.003mm~0.01mmです。髪の毛が、約0.1mmの太さですからその1/10~1/30の精度が金型には要求されます。

若者に高度な技術を継承

当社では若い世代の社員に力を入れております。近年、熟練した技術者の高齢化が進んでおり、若年層のものづくりへの関心の低下が問題となっております。このことから、次の世代に当社の技術を受け継いでもらうように、セミナーへの参加等、日々若者の教育に力をいれております。

日々、切磋琢磨を信条に!

当社は昭和44年の創業以来、現在地で冷間鍛造金型の製造・加工などを行っています。

昨今、私たちを取り巻く環境変化のスピードには、目を見張るものがあり、常に情報収集に努めております。



【旋盤加工】…旋盤で金属を切削している



【ワイヤー放電加工】…ワイヤーに電力を流して金属を削っている

モノ創りを通じて、社会、地域、社員に貢献。

おばちゃんの期待に応える



ココがすごい!

小さい金具を機械に取り付けることで、ミョウガの茎を真っ直ぐ切ることができる。



松田代表は「今はミョウガ以外の野菜として香南特産のラッキョウにも挑戦している」と意欲的でした。

松田鉄工と高知市内にあるフライン高知で作られた「ミョウガの茎カットと洗浄併用機」。この機械を作った理由は、ミョウガ農家のおばちゃんから「ミョウガの茎をハサミで切っていて手が痛くなるよ、肩が凝るよ」などの悩みを聞き、それを解消するため、依頼を受けて作ったそうです。この機械を作り始めたのは去年の8月で、今年6月に完成しました。この機械は、1時間に約8,000個のミョウガを切ることができ、速さも調節ができるそうです。また、大きさに関係なく真っ直ぐ正確に切ることができ、最後に水洗いをしてくれます。

ミョウガの茎カットと洗浄併用機



松田鉄工(香我美町徳王子) 代表者 松田建夫

地球に優しいエネルギーを燃料に!



ココがすごい!

冷却することによって、バーナー内に灰などがこびり付かなくなるので機械にやさしく長持ち。



バイオマス・エコ・バーナー

(株)暁産業で作られた「バイオマス・エコ・バーナー」。この機械は化石燃料の代替燃料として「おが粉」を使うという物です。

従来の化石燃料に比べると、二酸化炭素の排出量が少なくなっています。また、同じ木質燃料のペレットと比べても加工する手間が省けるため、より安価に取引されています。おが粉の供給システムは現在、木材関係会社から出るおが粉をトラックで運ぶようになっていますが、近いうちには「おが粉製造機」という、端板をおが粉にするものとセットで販売して、自らおが粉を生産できるようにするそうです。

野島社長は「化石燃料は、何年後かに底をつくと言われていたが、おが粉は定期的に植林することによって、限りある資源の循環を目指したい」と地球に優しいエネルギーとして期待を寄せています。



株式会社暁産業(吉川町古川) 代表取締役 野島弘行

ものづくりで地域を元気にする企業を、中学生が取材してきました。松田鉄工と(株)暁産業で開発された新製品を紹介します。

夢を叶えるものづくり



問い合わせ
商工水産課 ☎57-7520